

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | ありすの家こどもデイサービス小倉北（放課後等デイ） | | 公表日 | | 2026 年 3月 日 | |
|---------|---------------------------|--|-----|---------|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | | 100 | 狭い中でも安全に過ごせるスペースを確保すよう、その日の利用者さんの組み合わせにより、日々ベッドの移動や遊ぶスペースの移動などをして対応している。 | 行動範囲が広いお子さんもあり、利用人数が多い日など、室内で心地よく過ごせる活動スペースが十分に足りていない。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 83 | 17 | 担当を決め、支援しやすいよう工夫している。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 50 | 50 | 一部屋の活動空間なため、活動によって空間設定を変えて工夫している。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 17 | 83 | 収納が少ない中、棚を作成するなど工夫している。 | 物が多く、整理整頓が課題。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 33 | 67 | 仕切りとマットで空間を分けるなど、プライベートスペースを確保し、心地よく過ごせるよう配慮している。 | ワンフロアのため、清拭・オムツ交換・処置・食事・お昼寝など同じ環境で行っている。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 50 | 50 | | 各種専門職同士で行うことが多く、共有する時間を増やす改善が必要。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 83 | 17 | | 評価評価結果を基に業務改善内容を話し合い、改善していくことが必要。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 83 | 17 | 都度話し合いにより、改善策を考えている。月の定例会では、スタッフ全員が主体になり課題や改善策などをあげ、業務改善に努めている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 100 | | 第三者から評価を受ける機会をなかなか設けられていない。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 83 | 17 | 会社全体の専門職種グループがあり、定期的に研修とミーティングが行われている。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 83 | 17 | ホームページに分かりやすく掲載している。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 83 | 17 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 83 | 17 | 各専門職種同士で検討を行い、共有している。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 83 | 17 | 共有が不十分な所な場合は見直しをしている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 33 | 67 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 67 | 33 | ガイドラインに沿って行っている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 67 | 33 | 各職種と共有し、立案している。 | |

| | | | | | | |
|--------------|--------------------------------------|--|-----|-----|---|------------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100 | 0 | 個々のお子さんの成長段階や特性、状態や発達に合わせてねらいを決め、様々な方法で活動を行っています。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 83 | 17 | こどもの状態や発達に合わせて個別と集団の活動構成をしている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 67 | 33 | お子さんの体調や様子を見て、活動量や活動内容（ねらい）を最終決定し、スタッフ間で情報共有している。 | 支援内容、役割分担の確認が遅くなる。時間の工夫が必要。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 83 | 17 | | 看護面での支援振り返りが多く、リハビリや保育の振り返りの時間が必要。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 33 | 67 | 連絡帳などに残している。 | 細かい内容の記録を残せる改善が必要。記録様式を検討中。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 83 | 17 | | 半年に1回のモニタリング以外にも支援会議で話し合える時間をつくる。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 67 | 33 | 様々な体験と活動ができるプログラムづくりや余暇等をリラックスして過ごせるようなプログラムに力を入れている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 67 | 33 | 二者選択など選択する場面を設定し、具体物をしっかり見られるよう提示の高さや角度を工夫することで、自己決定力を育てています。お子さんお一人お一人の表出を待ち、その子に合わせた言葉がけを行うとともに、表情や体の動き、呼吸の変化といった小さな変化もキャッチできるよう努めています。こうした表出を受け止めたり、見つけたりして、関わりを通して本人の意思を尊重した支援を実践しています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100 | 0 | 児童発達支援管理者責任者と専門スタッフで参加している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 67 | 33 | 連携できる体制を整えている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 100 | 0 | 適切に行っている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 67 | 33 | 必要に応じて情報共有する体制は整えている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 17 | 83 | | まだ卒業生が出ていないが、見据えた準備が必要。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 33 | 67 | | まだ積極的に機会を設けていない。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 17 | 83 | 地域の行事に参加している。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 0 | 100 | | あまり積極的に参加できてない。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100 | 0 | 送迎時やアセスメント時に状況を伝え合い、共通理解を図っている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 50 | 50 | 親子会を開催した。 | 親子会等で家族が参加できる研修を取り入れたい。 |
| 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100 | 0 | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|-----|-------------|---|--|
| 保護者への説明等 | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100 | 0 | アセスメントを丁寧に行うよう心がけている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100 | 0 | 詳しく説明して同意を得てから支援を開始している。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100 | 0 | 半年に1回の面談や送迎時に日々の悩みの聴き取りを心がけている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 100 | 0 | 今年度は親子会を2度開催することができ、きょうだいの参加もあった。半年に1回の親子会を開き、交流の場を設けている。 | |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100 | 0 | 苦情があった際は迅速に職員間でミーティングをし、対応している。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 100 | 0 | 活動の様子や過ごし方等をSNSに投稿している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100 | 0 | SNS投稿についても事前に許可、同意を得ている。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100 | 0 | 話しやすい雰囲気をつくり、傾聴の後に具体的な説明やイメージを伝えるよう心がけている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 0 | 100 | 地域の行事に参加している。 | 地域住民との交流はあまり出来ていない。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100 | 0 | 年間訓練計画を立て実行してる。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 83 | 17 | 年間訓練計画を立て実行してる。 | 訓練が必要。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 100 | 0 | アセスメントで確認している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 83 | 17 | 食物アレルギーを把握し、提供しないようにしている。 | 医師からの指示書がない。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 67 | 33 | 年間訓練計画を立て実行してる。 | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 50 | 50 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 67 | 33 | | ヒヤリハットの共有・検討が口頭周知の為、今後は些細ことでも記録するよう改善する。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100 | 0 | 研修に参加している。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100 | 0 | 契約時に説明している。 | | |